

7. 研修評価について

研修評価はPG-EPOC (E-Portfolio of Clinical training for PostGraduates) を用いて行う（詳細は初期研修医手帳参照）。

① 研修医：

以下の内容について随時 PG-EPOC に入力する。

- ・自身の研修内容（経験すべき症候、疾患）
- ・研修医評価表(I/II/III)
- ・基本的臨床手技の登録・自己評価
- ・一般外来研修の実習記録
- ・その他の研修活動の記録

また、経験すべき症候（29 症候）、疾病・病態（26 疾病・病態）、および CPC について考察を加えたレポートを作成しプログラム責任者に提出する。

研修終了時に指導医、施設、研修プログラムに対する評価を PG-EPOC に入力する。

② 指導医：

以下の内容について随時 PG-EPOC に入力する。

- ・研修医の登録した症例について評価依頼に基づきその確認・承認・フィードバック
- ・評価表入力依頼に基づき、研修医評価表を入力。

③ メディカルスタッフ：

研修分野・診療科のローテーション終了時にメディカルスタッフが研修医評価表に入力することで研修医の評価を行う(360° 評価)。メディカルスタッフはプログラム責任者が選定する。

① プログラム責任者および副プログラム責任者：

研修医の研修進捗状況を PG-EPOC 等で確認し、年に 2 回以上研修医に形成的評価を行う。このときに 2 年間で研修が終了するよう適切な指導と調整を行うよう配慮する。